

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム・土 香 里

(ユニット名)

木 の 果

記入者(管理者)

氏 名

久 保 早 苗

評価完了日

平成 19 年 8 月 4 日

## 自己評価及び外部評価表

| 自己評価             | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                  |
|------------------|------|--|---|---------------------------|---|
| <b>・理念に基づく運営</b> |      |  |   |                           |   |
| <b>1. 理念と共有</b>  |      |  |   |                           |   |
| 1                | 1    | 地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている      | (自己評価)  |                           |   |
|                  |      |  | 昨年、理念を法人代表と職員と共に考え直し変更。職員の思いを素直に取り入れた、地域密着の土香里らしい理念になったと思う。             |                           |   |
|                  |      |  | (外部評価)  |                           |   |
|                  |      |  | 理念の一つに「昔ながらの古き良きご近所づきあいを大切に」を掲げ、地域の人々の「駆け込み寺のような所でありたい」と考え、日々取り組んでおられた。 |                           |   |
| 2                | 2    | 理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                         | (自己評価)  |                           |   |
|                  |      |  | 法人代表、管理者も日々ケアに携わり、理念の実践の為に職員と共に努力している。しかし、職員全員が理解できているかは疑問。             |                           | 月に1回以上のカンファレンス時や、ミーティング時には理念が実践できているか、理解できているか確認の必要がある。 |
|                  |      |  | (外部評価)  |                           |   |
|                  |      |  | 理念に基づきユニット毎に今年目標を掲げ、理念の実践に向けて取り組まれている。                                  |                           |   |
| 3                |      | 家族や地域への理念の浸透<br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | (自己評価)  |                           |   |
|                  |      |  | 運営推進会議にて家族、地域の方々に報告し、納得のうえ理解していただいていると思うが、入居時には理念についてあまり触れていない。         |                           | 入居時には、理念について理解できるような書面を用意し、しっかりと説明する必要がある。              |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価                         | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|------------------------------|------|---|--|---------------------------|--|
| <b>2. 地域との支えあい</b>           |      |   |  |                           |  |
| 4                            |      | 隣近所とのつきあい<br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている      | (自己評価)<br>日常的に散歩などの際は近隣の人たちと挨拶を交わしたり雑談をしたりしてしている。また野菜等を分けて頂いた時は利用者と共に調理し再びお返すなど田舎の事業所ならではの対応をしている。   |                           |  |
| 5                            | 3    | 地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている        | (自己評価)<br>地域のお祭りや行事には利用者と共に積極的に参加をしている。また事業所には近隣の子供たちが自由に入りをし、家庭的交流を図っている。また地区の小学生のボランティア活動においても積極的受け入れを行っている。<br>(外部評価)<br>事業所近くで地域の夏祭りが開催される折には、事業所のトイレを使用できるようされている。又、大正琴の演奏等、地域の人のお稽古ごとの発表の場に事業所を使っていたいっている。 |                           |  |
| 6                            |      | 事業所の力を活かした地域貢献<br>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | (自己評価)<br>ご近所からの介護相談を、時々受け親身に対応している。   |                           | 地域に高齢者の独居が多いため、通報システムを利用して、電話、訪問による安否確認等できないか検討中であり、実際に関係市、ご家族、地域の方とも検討を進めている。 |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |      |   |  |                           |  |
| 7                            | 4    | 評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる          | (自己評価)<br>自己評価を全職員で行い、サービスの質の向上に努めている。その後の外部評価の結果を真摯に受け止め改善計画を立案し、カンファレンスなどで報告し取り組むよう努力している。<br>(外部評価)<br>職員で自己評価の項目を分担し、運営者・ケアマネージャもともに自己評価に取り組みました。前回の評価結果を受け、個別の記録の見直しやカンファレンスの回数を増やす等改善に取り組みました。             |                           |  |

## 自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                             |
|------|------|--|---|---------------------------|--|
| 8    | 5    | 運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの<br>実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                       | (自己評価)  |                           |  |
|      |      |  | スライドを利用した活動や取組みの報告。<br>食事しながらの意見交換時も、意見が出易く時間が足りないくらい。その場で意見を出し難い方も居ると思<br>い、匿名でのアンケートも活用している。出された意見は大切に議事録に記録して送付し、ミーティングで<br>検討したうえで改善実行している。 |                           |  |
|      |      |  | (外部評価)  |                           |  |
|      |      |  | 地域のお年寄りの見守りとして、事業所が通報システム<br>の拠点となれないかということをご提案され、市の担<br>当者や地域の方達と話し合いがなされた。  |                           |  |
| 9    | 6    | 市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議<br>以外にも行き来する機会をつくり、市町村<br>とともにサービスの質の向上に取り組んで<br>いる                                | (自己評価)  |                           |  |
|      |      |  | 法人代表、職員が相談があるたびに市や社協に行っ<br>ている。また、市や社協の勉強会にも積極的に参加して<br>いる。   |                           |  |
|      |      |  | (外部評価)  |                           |  |
|      |      |  | 市の介護相談員が毎月訪問されている。  |                           | 市の担当者の方達にも事業所の取組みを深く知って<br>いただけるよう、今後も、事業所から働きかけてい<br>かれることが期待される。 |
| 10   |      | 権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業<br>や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、<br>個々の必要性を関係者と話し合い、必要な<br>人にはそれらを活用できるよう支援してい<br>る | (自己評価)  |                           |  |
|      |      |  | 法人代表や管理者は勉強し、理解しており、他施設<br>からの相談にもものっているが、職員は学ぶ機会を持<br>っていない。   |                           | 職員が学べる勉強会が必要。普段のミーティングの<br>時間を少し割り当てる。                             |
| 11   |      | 虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法<br>について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や<br>事業所内で虐待が見過ごされることがない<br>よう注意を払い、防止に努めている                 | (自己評価)  |                           |  |
|      |      |  | 法人代表が職員と方を並べて仕事し、職員とのコミュ<br>ニケーションを大切に、ストレスを溜めないのが何<br>よりも努力しているが、職員が虐待について学ぶ機会<br>がない。   |                           | 職員が学べる勉強会が必要。普段のミーティングの<br>時間を少し割り当てる。                             |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価                   | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                        |
|------------------------|------|--|---|---------------------------|---|
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |      |  |   |                           |   |
| 12                     |      | 契約に関する説明と納得<br>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている    | (自己評価)<br>重要事項説明には十分時間をとっているが、特筆すべき事項以外は書面を読み上げるだけになっている。家族側の不安点、疑問点については、納得できるまで施設見学していただき、その時に話し合っている。                          |                           | 契約後に書面を読み返した時に補足説明のいない、契約書、説明書の作成が必要。                         |
| 13                     |      | 運営に関する利用者意見の反映<br>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている   | (自己評価)<br>何気ない日常会話の中で、利用者の思いを察する努力をしている。利用者の不満や意見がある場合は、すぐに話し合っている。   |                           | 家族の訪問時に利用者の意見を伝えていただいたり、介護相談員の月に一度の訪問や、相互評価も活用している。           |
| 14                     | 7    | 家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | (自己評価)<br>毎月末には各担当者が、直筆のお手紙にて事業所での利用者の暮らしぶりや、金銭管理・事業所のお知らせを報告するようにし、安心して信頼関係を保てるようにしている。また事業所での生活写真を利用しさりげない生活も把握していただけるようにしている。  |                           | 家族によって、連絡してもらいたい体調異変の程度が異なるため(施設から電話がかかると不安になる。)、どうすればいいか検討中。 |
|                        |      |  | (外部評価)<br>利用者の様子を毎月、手書きの手紙でお知らせされている。   |                           |   |
| 15                     | 8    | 運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている   | (自己評価)<br>ご家族には、月末のお手紙や訪問時、3ヶ月に1度の運営推進委員会で問いかけ、ご家族とのなじみの関係を大事にし、何でも言っていただけるような雰囲気作りを行っている。また出された意見や要望をミーティングで話し合い、運営に反映する努力をしている。 |                           | 最近、苦情対策委員会を職員内で設置した。  |
|                        |      |  | (外部評価)<br>ご家族の来訪時等に、意見や要望をお聞きしている。運営推進会議には、ご家族が多数参加されている。   |                           | さらに、今後ご家族が意見を出しやすいような工夫を重ねていかれることが期待される。                      |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価               | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                |
|--------------------|------|---|---|---------------------------|---|
| 16                 |      | 運営に関する職員意見の反映<br>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている  | (自己評価)<br>月に1度以上のカンファレンスを行い、意見を聞くようにしている。また運営者・管理者とともにユニット間を行き来しコミュニケーション不足の解消に努めている。                 |                           |   |
| 17                 |      | 柔軟な対応に向けた勤務調整<br>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている                      | (自己評価)<br>24時間安定した質の援助を行えるよう、起床時や就寝時、日中の活動時間に職員を確保している。また夏季・冬季においても利用者の生活状態により柔軟な対応ができるよう勤務調整に努めている。  |                           |   |
| 18                 | 9    | 職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | (自己評価)<br>退職者が出た場合以外は、移動の無いようにしている。また、担当制を導入している為、担当職員が利用者を把握できるよう担当の移動も抑えている。                        |                           |   |
|                    |      |   | (外部評価)<br>新人職員は、利用者全員の様子を把握した後、利用者個々の担当となるようにされている。   |                           |   |
| <b>5. 人材の育成と支援</b> |      |   |   |                           |   |
| 19                 | 10   | 職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | (自己評価)<br>研修や学習会においては、希望者が重なったり、勤務表の作成後では、なかなか受講できない。勤務内で色々な介護に関する案を積極的に出し、実施しているが、幅広いスキルアップには至っていない。 |                           | 受講した職員が主になり、計画性のある勉強会を実施するようにしたい。                                     |
|                    |      |   | (外部評価)<br>職員は、勤務ローテーションのこともあり、外部研修への参加は少な目となっている。   |                           | 法人代表者は、内部、外部研修の受講を計画的にすすめ、職員全体のスキルアップから事業所のさらなる質の向上を目指していきたいと考えておられた。 |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価                             | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|--|--|---------------------------|--|
| 20                               | 11   | 同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | (自己評価)   |                           |  |
|                                  |      |  | 職員が、グループホーム間の相互評価にも積極的に参加したり、法人代表が他施設間の交流を充実させるべく、頻繁に訪問し、見つけたアイデアを実行、検討している。 |                           |  |
|                                  |      |  | (外部評価)   |                           |  |
|                                  |      |  | 市内7ヶ所のグループホーム事業所で連絡会を設けておられ、情報交換等ネットワーク作りをされている。                             |                           |  |
| 21                               |      | 職員のストレス軽減に向けた取り組み<br>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる                                    | (自己評価)   |                           |  |
|                                  |      |  | 法人代表が職員同様の勤務に就き、精神的負担の大きい仕事内容を把握し、職員と共に検討し改善に努めている。                          |                           | 完全に勤務から外れることのできる休憩時間の確保ができない。          |
| 22                               |      | 向上心を持って働き続けるための取り組み<br>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている                        | (自己評価)   |                           |  |
|                                  |      |  | 法人代表が職員同様の勤務に就き、勤務に関する提案を職員共に検討し、まずは実行するように心がけ、それぞれの職員の意見を尊重している。            |                           |  |
| <b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>         |      |  |  |                           |  |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |      |  |  |                           |  |
| 23                               |      | 初期に築く本人との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている             | (自己評価)   |                           |  |
|                                  |      |  | 相談を受けた際には、利用前にできる限り本人に会って生活状態のアセスメントや思いに向き合い信頼関係を築けるよう努力している。                |                           |  |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価                             | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| 24                               |      | 初期に築く家族との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                       | (自己評価)<br><br>相談を受けた時に、ご家族の苦労やサービスの経緯を確認し共感に努め当事業所で何を提供することができるかを事前に話し合うようにしている。  |                           |  |
| 25                               |      | 初期対応の見極めと支援<br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                               | (自己評価)<br><br>社会福祉協議会や地域支援センター等、相談時に利用されている他の事業所とも連絡、連携をとり対応している。   |                           |  |
| 26                               | 12   | 馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | (自己評価)<br><br>利用前には本人、家族に事業所に見学に来ていただき納得しサービスを開始できるよう工夫している。やむを得ずサービスが開始された場合においても、本人・家族・介護支援専門員等に相談を行い、心身共に安定が早く図れるよう努力している。<br><br>(外部評価)<br><br>入居前に、ご本人やご家族に何回か来訪いただき、他の利用者とともに食事をされたり、場の雰囲気に馴染んでいただけるよう取り組まれている。 |                           |  |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |      |   |   |                           |  |
| 27                               | 13   | 本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                       | (自己評価)<br><br>利用者が人生の先輩であり、尊敬される存在であることを職員が熟知しており、日々の生活で相談をしたり、されたり、自然にお手伝い頂ける時や主になって職員のお世話・他利用者を支えられるような場面作りの回数が増えるよう努力している。<br><br>(外部評価)<br><br>職員は、利用者に調理方法等を教えてもらったり、味をみてもらいながら食事作りをされていた。                       |                           |  |



## 自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|--|---------------------------|--|
| 28   |      | 本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている         | (自己評価)<br>職員は家族の思いや願いについて理解し、密に連絡・相談をとり、共に利用者を支えて援助していくような関係を築く努力をしている。            |                           |  |
| 29   |      | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している             | (自己評価)<br>家族の面会時には利用者の近況を伝え相談し、また月末に、職員より手書きの手紙をお送りし、利用者との関係がより良くまた、途切れないように努めている。 |                           |  |
| 30   |      | 馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている               | (自己評価)<br>昔からの馴染みのかかりつけ医を優先し受診している。  |                           |  |
| 31   |      | 利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている              | (自己評価)<br>利用者同士の関わりを職員全体にて把握し、お互いが日々さりげない生活の中で声を掛け合って関わり・支え合える様に橋渡し役を心がけている。       |                           |  |
| 32   |      | 関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | (自己評価)<br>入院された方については、受診等によりその病院に行った際にはお見舞いに行っている。                                 |                           |  |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価                                  | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|--|---|---------------------------|--|
| <p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>     |      |  |   |                           |  |
| <p>1. 一人ひとりの把握</p>                    |      |  |   |                           |  |
| 33                                    | 14   | <p>思いや意向の把握<br/>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>                                    | <p>(自己評価)<br/>日々の暮らしの中での言動などに耳を傾け、生活についての希望や意向を把握するよう努めている。意思疎通困難な方についても家族や関係者より情報を把握するようにしている。</p>                     |                           |  |
|                                       |      |  | <p>(外部評価)</p>   |                           |  |
|                                       |      |  | <p>センター方式の書式を用いて、利用者個々の思いや意向の把握に努めておられる。又、職員の日々の気付きを書きとめ、介護計画作成に活かせるよう努めておられる。</p>                                      |                           |  |
| 34                                    |      | <p>これまでの暮らしの把握<br/>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>                                | <p>(自己評価)<br/>利用前にご本人や家族より、聞かせていただける範囲内で聞き取りを行い、利用開始後も本人からの訴えやキーワードを拾いこれまでの暮らしの把握に努めている。</p>                            |                           |  |
| 35                                    |      | <p>暮らしの現状の把握<br/>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>                                      | <p>(自己評価)<br/>一人ひとりの生活リズムを把握し、行動や表情・言動を観察し本人の全体像を把握するように努めている。</p>  |                           |  |
| <p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p> |      |  |   |                           |  |
| 36                                    | 15   | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画<br/>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>(自己評価)<br/>ご本人・家族には日々のケアのかかわりの中で、思いや意見を反映できるよう密接に相談や連絡をとりあっている。またアセスメントを行いさりげない表情や行動を捉え月に1度のカンファレンスで話し合うようにしている。</p> |                           |  |
|                                       |      |  | <p>(外部評価)</p>   |                           |  |
|                                       |      |  | <p>日々の記録や職員の意見を聞きなが介護計画を作成されている。</p>  |                           |  |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価                     | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------|------|--|--|---------------------------|--|
| 37                       | 16   | 現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | (自己評価)   |                           |  |
|                          |      |  | 入退院による状態の変化、現状に即さない状態があった場合や家族が訪問された際に気付いた点など新たな計画を本人・家族・関係者相談のもと作成している。 |                           |  |
|                          |      |  | (外部評価)   |                           |  |
|                          |      |  | 入居間もない時には1ヶ月、その後は3ヶ月毎に見直しされている。又、毎月、評価やモニタリングされている。                      |                           |  |
| 38                       |      | 個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                         | (自己評価)   |                           |  |
|                          |      |  | 個別日誌を利用し、書面からも状態や表情が分かるように記入している。個別援助計画に関してもケアの実践・結果・気づきが記入できるよう工夫している。  |                           |  |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b> |      |  |  |                           |  |
| 39                       | 17   | 事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                                     | (自己評価)   |                           |  |
|                          |      |  | 本人や家族の状況に応じて、受診時の送迎など支援は柔軟に対応し、個別ニーズの要望に答えられるように努力している。                  |                           |  |
|                          |      |  | (外部評価)   |                           |  |
|                          |      |  | 事業所には、ご家族が泊まれるよう部屋や布団を用意されている。   |                           |  |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価                               | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |      |   |   |                           |  |
| 40                                 |      | 地域資源との協働<br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している               | (自己評価)<br>地元の小学校や、趣味サークルの方などにボランティアをお願いし、交流を図っている。  |                           |  |
| 41                                 |      | 他のサービスの活用支援<br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている    | (自己評価)<br>ケースがない。   |                           | 過去における事例はないが、必要となる場合は積極的に利用したい。        |
| 42                                 |      | 地域包括支援センターとの協働<br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している   | (自己評価)<br>ケースがない。   |                           | 過去における事例はないが、必要となる場合は積極的に利用したい。        |
| 43                                 | 18   | かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している   | (自己評価)<br>本人・家族の希望に沿い納得が得られた医療施設との関係を築いており、受診支援を行っている。<br><br>(外部評価)<br>必要に応じてかかりつけ医の往診が受けられるようになっている。透析に通われる方は職員が送り迎えをされている。 |                           |  |
| 44                                 |      | 認知症の専門医等の受診支援<br>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | (自己評価)<br>本人が行きなれた病院に受診していただき、日常の行動等治療に必要な情報を提供し、診断にもとづき介護にも利用している。   |                           |  |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                        |
|------|------|--|--|---------------------------|---|
| 45   |      | 看護職との協働<br>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている   | (自己評価)<br>施設内勤務の看護師と日常的に相談している。利用者の日々のバイタルも毎朝及び、適宜測定している。  |                           |   |
| 46   |      | 早期退院に向けた医療機関との協働<br>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している                      | (自己評価)<br>緊急時及び入院した場合、10日前程度のバイタル及び健康状態をPC出力し、搬送時、受診時に担当医手渡すようにし、介護情報提供書も届けるようにしている。   |                           |   |
| 47   | 19   | 重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している                                   | (自己評価)<br>今までにターミナルで見送った例においては、主治医と家族と法人代表を含む職員によって、連絡を取り合い、方針を定める事が出来た。<br><br>(外部評価)<br>ご本人に関わる人たちの協力を得ながら、事業所で看取りをされた事例もある。 |                           | さらに、事業所では、看取りの体制作りとして、職員の体制やご家族や医師との連携について、話し合っていきたいと考えておられた。 |
| 48   |      | 重度化や終末期に向けたチームでの支援<br>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | (自己評価)<br>日常から利用者本人の意向を取り入れ、後悔しないために、利用者からでた小さな希望を、ユニット職員全員で共有し、カンファレンス時に検討している。   |                           |   |
| 49   |      | 住み替え時の協働によるダメージの防止<br>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている                      | (自己評価)<br>利用者の担当職員とケアマネージャーと法人代表によって、新しい居所の介護者の方と情報交換を行っている。移った後も、暫くは時折訪問している。   |                           |   |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価                          | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目)                   | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|-------------------------------|------|---|--|---|--|
| <p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> |      |   |  |   |  |
| <p>1. その人らしい暮らしの支援</p>        |      |   |  |   |  |
| <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>           |      |   |  |   |  |
| 50                            | 20   | <p>プライバシーの確保の徹底<br/>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> | <p>(自己評価)</p> <p>個人個人にあった声掛け支援をし、利用者の活気を向上できるよう努力しているが、時折、プライバシーの点から疑問を感じる声掛けを耳にすることがある。</p> |   | <p>何気ない言葉の気遣いに加え、声の大きさにも気をつける必要がある。これらを職員が共有することが必要。</p>                                     |
|                               |      |   | <p>(外部評価)</p>  |   |  |
| 51                            |      |   | <p>(自己評価)</p> <p>利用者が自己決定できるよう表情や声のトーンなどに気をつけ説明及び選択肢を用意し、援助を行っている。</p>                       |   |  |
| 52                            |      |   | <p>(自己評価)</p> <p>1日の流れとして基本的なものはあるが、あくまでも共同生活上のものであり、個別性を重視し、状態や思いにより日々の生活を本人主導の下援助している。</p> |   | <p>自己表現が困難な方についてもその人らしい暮らしを追求できるよう、家族等に相談し希望に沿った支援を図りたい。</p>                                 |
|                               |      |   | <p>(外部評価)</p>  |   |  |
| 21                            |      |   | <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>                       | <p>職員が、忙しいような時には、職員のペースになってしまうようなこともある。</p> | <p>細やかなケアを行うことがグループホームの特徴でもあり、職員で、利用者個々らしい暮らしについて話し合い、さらに、その人らしい暮らしを支えていけるような取り組みが期待される。</p> |

## 自己評価及び外部評価表

| 自己評価                         | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                    |
|------------------------------|------|---|--|---------------------------|---|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |      |   |  |                           |   |
| 53                           |      | 身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている        | (自己評価)<br>月に一度、カットサロンから理容師が来ているが、施設側の無料サービスとしているため、そのサービスを利用したい家族の意向が多い。   |                           |   |
| 54                           | 22   | 食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | (自己評価)<br>基本的に栄養士が献立作りをおこなっているが、美味しく楽しむ事ができるよう、メニュー変更したり行事毎の意見や気持ちを反映できるようにしている。食事の下ごしらえ・後片付けも一緒に行っている。<br>(外部評価)<br>ゆっくり話をしながら食事をされたい方は、職員とともにたたみの間で食事をされており、利用者同士、お若い頃のお話で会話がはずみ、職員も交えて楽しい食事の様子がうかがえた。 |                           |   |
| 55                           |      | 本人の嗜好の支援<br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している        | (自己評価)<br>普段の会話や生活歴などから本人が好む飲み物や、おやつ等を支援するよう心がけている。  |                           |   |
| 56                           |      | 気持ちよい排泄の支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している    | (自己評価)<br>個別の排泄パターンを利用し、気持ちよく排泄できるようトイレ誘導を主体に援助している。   |                           | 個別の能力に着目しリハビリパンツから布パンツへの移行や、さりげない声掛けを含め快適に過ごせるように援助を図りたい。 |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価                         | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                         |
|------------------------------|------|--|--|---------------------------|--|
| 57                           | 23   | 入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | (自己評価)   |                           |  |
|                              |      |  | 季節も考慮し、まず利用者の希望に添えるよう工夫している。その他、気持ちよく入浴して頂く為に入浴剤を使用するなどし、楽しめるよう支援している。   |                           | 現在、希望を反映してはいるが、日中のローテーションとなっているため、夜間の入浴も視野にいれ、利用者本位となる支援を図りたい。 |
|                              |      |  | (外部評価)   |                           |  |
|                              |      |  | 事業所では、毎日入浴できるように準備をされており、朝に入浴を希望される方もおられる。   |                           |  |
| 58                           |      | 安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している                    | (自己評価)   |                           |  |
|                              |      |  | 夜間安眠をはかるため、日中活動を促して生活リズムを整えるようにしている。不眠時には居間で談話したりTVを一緒に見たりして安眠を促せるよう努力している。また日中はその時々個別の状態により各居室や和室で休憩・休息できるよう支援している。 |                           |  |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |      |  |  |                           |  |
| 59                           | 24   | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | (自己評価)   |                           |  |
|                              |      |  | 個別の生活歴や能力を活かす支援ができるよう、家事や洗濯、歌謡曲・唱歌・習字などの場を提供し職員に教えてもらう活躍に対する支援を行っている。  |                           | 一般的な役割のみでなく、利用者自身楽しみながら主役となれるような支援を行い尊敬・感謝の言葉かけを伝えるように努力する。    |
|                              |      |  | (外部評価)   |                           |  |
|                              |      |  | 通院の帰りに友人宅を訪問される利用者もおられる。1泊2日の旅行に行くことについて、楽しみに計画すずめておられる利用者もおられた。   |                           | 今後も、ご家族の協力等も得ながら、ご本人の楽しみごとや喜びをさらに支援していかれることが期待される。             |
| 60                           |      | お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | (自己評価)   |                           |  |
|                              |      |  | 金銭管理の出来る方には、預かり金より手渡し、職員と共に買い物に行ったりしている。   |                           |  |



## 自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|---|---------------------------|--|
| 61   | 25   | 日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                     | (自己評価)  |                           |  |
|      |      |   | 天気や利用者の気分・希望に合わせ玄関前での日向ぼっこや、近くにおやつを買いに行くなど散歩も取り入れている。その他、計画を立案し車を使用し、車椅子でも楽しみを持って外出できるよう支援している。 |                           |  |
|      |      |   | (外部評価)  |                           |  |
|      |      |   | 調査訪問時、おしゃれをしてお出かけをされている方がうかがえた。利用者の希望により買い物や外食に出かけることもある。                                       |                           |  |
| 62   |      | 普段行けない場所への外出支援<br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | (自己評価)  |                           |  |
|      |      |   | その時の発言や生活歴からの予測される願いを受け止め、柔軟な対応で即実現できる事と十分な検討が必要かを判断し対応している。                                    |                           |  |
| 63   |      | 電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                           | (自己評価)  |                           |  |
|      |      |   | 手紙も電話も、本人が希望すれば支援している。  |                           |  |
| 64   |      | 家族や馴染みの人の訪問支援<br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している            | (自己評価)  |                           |  |
|      |      |   | 24時間いつでも訪問できるよう家族などに説明しており、家族の絆を保ち深められるよう工夫している。また訪問時には利用者と家族での食事時間も提供できるようにしている。               |                           |  |

## 自己評価及び外部評価表

| 自己評価            | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                            |
|-----------------|------|--|---|---------------------------|---|
| (4) 安心と安全を支える支援 |      |  |   |                           |   |
| 65              |      | 身体拘束をしないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価)<br>個別利用者への見守り方法や、外出までのパターンを把握しており、各居室の扉においても24時間施錠は無しとなっている。また近隣住民との関わりでも理解され、見守りや声掛けして頂ける体制も整いつつある。         |                           | 日中の生活に気分転換や自然に外に出る機会を増やし自由で安全な暮らしを援助できるよう努力する。                    |
| 66              | 26   | 鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる                  | (自己評価)<br>施錠についても、身体拘束廃止委員会が担当しているが、場合によっては施錠している。  |                           | 施錠時間が短くなり、施錠の必要がなくなるように努力はしているが、もっと検討する必要がある。                     |
|                 |      |  | (外部評価)<br>ユニットの入り口にカギをかけることもある。   |                           | さらに、職員は、施錠やスピーチロックもなくしていきたいと話しておられた。今後、すべての職員で知識を深めていかれることが期待される。 |
| 67              |      | 利用者の安全確認<br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している                           | (自己評価)<br>日中はフロアにいる職員全体で、さりげない声掛け目視にて確認し、夜間においては居間に職員が配置し、基本的には2時間おき、若しくは状況に応じて随時巡視を行い安全配慮を行っている。                   |                           |   |
| 68              |      | 注意の必要な物品の保管・管理<br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている                     | (自己評価)<br>利用者の状態や変化に応じ、注意すべき物品をピックアップし、保管・管理を行っている。その他、使用する際には見守り・声掛けを行い対応している。脱衣場の注意物品においてもカーテンや直接触れないように対応している。   |                           |   |
| 69              |      | 事故防止のための取り組み<br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる                  | (自己評価)<br>個別の状態を把握し、予想される事故防止の取り組みを行っている。また誤薬防止として2人確認を行っている。また事故に繋がるインシデントや事故後のアクシデント報告もその都度カンファレンスを行い再発防止を徹底している。 |                           |   |

## 自己評価及び外部評価表

| 自己評価                       | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|------|--|--|---------------------------|--|
| 70                         |      | 急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている                | (自己評価)<br>利用者の状態別における急変時の対応は、看護師を含むカンファレンスで統一している。   |                           | 救命救急の講習を受ける必要がある。                      |
| 71                         | 27   | 災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている  | (自己評価)<br>消防署の協力を得て、通報訓練、避難訓練を実施している。  |                           | 次回は、地域の方の協力を得た訓練を実施する必要がある。            |
|                            |      |  | (外部評価)<br>地震対策として、洗面所上の物置を取り除かれていた。地域の協力者の方々に事業所内の様子を見てもらっている。   |                           | 今後、平日の日中に火災時の避難訓練を行なうことを予定されていた。       |
| 72                         |      | リスク対応に関する家族等との話し合い<br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている | (自己評価)<br>家族等に起こり得るリスクについて説明を行っており、又3ヶ月に1度、家族を含めての運営推進委員会にて理解を深めていただけるように努力している。                       |                           |  |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |      |  |  |                           |  |
| 73                         |      | 体調変化の早期発見と対応<br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている          | (自己評価)<br>普段の状態を全体で共有しており、個別に状態の変化が少しでもみられた場合には、バイタルチェックし様子観察・記録を行い医師への相談、と心がけており、又救急対応医療機関との連携も図っている。 |                           |  |

## 自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                       |
|------|------|--|---|---------------------------|--|
| 74   |      | 服薬支援<br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | (自己評価)<br>受診時、医師から処方された薬について、処方箋を個別ファイルに整理し、口頭及び申し送り簿などで伝達を行い内容の周知徹底を行っている。症状の変化についても経過観察・情報収集を行い医療との連携を図るよう努めている。    |                           |  |
| 75   |      | 便秘の予防と対応<br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる    | (自己評価)<br>排便記録表を活用し、チェックを毎日行い便秘時の影響を観察し、個別に適した排便パターンを把握している。また予防として簡単な体操や食事内容(毎朝のヨーグルト)・1日あたりの水分摂取量の目標を立て、自然排便を促している。 |                           | 現状より、快適な状態で排便を行えるよう、個別の生活リズムに見合った散歩や、家事活動を適度に取り入れていきたい。      |
| 76   |      | 口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている              | (自己評価)<br>毎食後、個別の状態や能力に応じ、声掛けし、見守り・介助を行い、口腔ケア支援に努めている。また義歯洗浄においても毎週の日程日に市販の洗浄薬品を使用し清潔保持に努めている。                        |                           |  |
| 77   | 28   | 栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価)<br>食事・水分摂取量などの状況を毎回チェック記録を行い状態の変化を職員全体で把握し、適した形状で摂取量が摂れる様援助している。個別の嗜好も柔軟にとりいれ栄養士に意見を求め食事メニューに反映している。           |                           | 食欲が増進するために、日常生活動作上での適度な運動や食前の口腔体操を積極的に取り入れたたり、食器や座席の工夫に努めたい。 |
|      |      |  | (外部評価)<br>栄養士が献立を立てておられ、彩りよく利用者が食欲を高められるよう盛り付けも工夫をされていた。  |                           | さらに、食事のことについてご家族等の意見もうかがえるような機会を作ってみてはどうだろうか。                |
| 78   |      | 感染症予防<br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)       | (自己評価)<br>感染症予防となるマニュアルを作成し職員間にて予防・対策に努めている。またハンドペーパーを使用しノロウイルスの対策予防も徹底している。また季節や地域の感染症発生状況も医療との連携などにより情報収集に努めている。    |                           | 職員会議などで感染症予防・対策について新しい知識や技術を取得できるよう努める。                      |

## 自己評価及び外部評価表

| 自己評価                           | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------|------|--|--|---------------------------|--|
| 79                             |      | <p>食材の管理<br/>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>  | <p>(自己評価)<br/>調理器具及び食器類等は食器洗い機にて、洗浄・高温乾燥を行い、ふきん・まな板・三角コーナーなどは適時漂白している。食材においては、各卸屋との協力体制が整っており、その他は消費・賞味期限を使用日に合わせて購入するなど、新鮮なものを使用している。</p>   |                           |  |
| <b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> |      |  |  |                           |  |
| (1)居心地のよい環境づくり                 |      |  |  |                           |  |
| 80                             |      | <p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br/>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>                              | <p>(自己評価)<br/>玄関においては、日中はいつでも気軽に出入りできるよう開放している。また家庭的な雰囲気为目标に季節感あふれる花や、物品・案内分を設置したりしている。</p>  |                           |  |
| 81                             | 29   | <p>居心地のよい共用空間づくり<br/>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>(自己評価)<br/>共用生活空間において、季節や時間を五感で感じれる様に光・音・匂いなど（カーテンや照明器具・空調の調整・外窓の開閉・話し声・調理時）工夫している。また浴室・脱衣場・トイレは心地よく利用できるよう清掃・換気を行いプライバシー保護の徹底をしている。</p> <p>(外部評価)<br/>共用空間には、手作りカレンダーや利用者が作成した習字が飾られていた。窓から季節の移り変わりが眺められる。</p> |                           |  |
| 82                             |      | <p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br/>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>                              | <p>(自己評価)<br/>共用空間において、和室・居間にはそれぞれテーブルや長椅子を設置し、家庭的な雰囲気の中で気の合った利用者同士などで会話できたり個別の時間を尊重できるよう工夫している。</p>   |                           |  |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価                   | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)       |
|------------------------|------|--|---|---------------------------|--|
| 83                     | 30   | 居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み<br>のものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価)  |                           |  |
|                        |      |  | 利用者自身及び家族に好みや馴染みのものを、伺い相談し個人の住まいとして居心地よくすごせるよう、工夫している。  |                           | 個別性・快適性を重視し、利用中においても利用者自身・家族の意向を積極的に取り入れていく。 |
|                        |      |  | (外部評価)  |                           |  |
|                        |      |  | ご本人の希望に沿ったしつらえを支援されており、たんすや机・ポータブルトイレ等を持ち込んでおられる方もあった。  |                           |  |
| 84                     |      | 換気・空調の配慮<br>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている             | (自己評価)  |                           |  |
|                        |      |  | 利用者の状態や様子及び各居室・居間の温度・湿度計をチェックし外気温との差を考慮し外窓の開閉や空調機器を管理し調整を行っている。トイレにおいても臭いに注意し、清掃を細めに行い換気・消臭剤を利用し配慮している。 |                           |  |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり |      |  |   |                           |  |
| 85                     |      | 身体機能を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                     | (自己評価)  |                           |  |
|                        |      |  | 夜間移動時に必要な手すり代わりとなる椅子や新たに目印を設置する等、利用者個別の状態を観察し、生活に必要と思われる環境を見直し、安全かつ自立支援を意識した工夫をしている。                    |                           |  |
| 86                     |      | わかる力を活かした環境づくり<br>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している                               | (自己評価)  |                           |  |
|                        |      |  | 混乱や失敗を予防するために日々変化する個別能力について、その都度、職員間で話し合い「原因と対策を検討し利用者がいかに自立した生活が送れるか」を追求している。                          |                           |  |
| 87                     |      | 建物の外周りや空間の活用<br>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている                                       | (自己評価)  |                           |  |
|                        |      |  | 玄関前には、大きな椅子を設置し、庭にはアニマルセラピーとなるウサギを飼い、いつでも利用者が和めたり楽しめる工夫を行っている。  |                           |  |

| . サービスの成果に関する項目 |   |  |
|-----------------|---|--|
| 項目              | 取り組みの成果<br>(該当する箇所を 印で囲むこと)   | 判断した具体的根拠  |
| 88              | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(自己評価) ② 利用者の2/3くらいの<br>3 利用者の1/3くらいの<br>4 ほとんど掴んでいない                                  | 努力はしているが、希望や意向を把握しきれていない。                                    |
| 89              | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(自己評価) ① 毎日ある<br>2 数日に1回程度ある<br>3 たまにある<br>4 ほとんどない                                       | この時間こそ優先すべき業務と思い、大切にしている。                                    |
| 90              | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない  | 利用者同士の人間関係がこじれることもあり、精神的な部分で負担をかけてしまうことがある。                  |
| 91              | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(自己評価) ② 利用者の2/3くらいが<br>3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない                                | 生き生きした表情は見られるが、支援することでそうなっているかは疑問を感じる。                       |
| 92              | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(自己評価) ② 利用者の2/3くらいが<br>3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない  | 行きたいところへは、出来るだけ出かけるようにしているが、行きたいときに行く事がなかなか実行できない。           |
| 93              | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている<br>(自己評価) ① ほぼ全ての利用者が<br>2 利用者の2/3くらいが<br>3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない                    | 利用者から、「ここに居たら安心する。」という言葉をよく耳にする。                             |
| 94              | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(自己評価) ② 利用者の2/3くらいが<br>3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない                           | 出来る限り、その時の要望に迅速に対応するようにしているが、職員が他の方に手を取られることが多く、対応が遅れることがある。 |
| 95              | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています<br>(自己評価) ① ほぼ全ての家族と<br>2 家族の2/3くらいと<br>3 家族の1/3くらいと<br>4 ほとんどできていない | 日頃から面会が多く、職員とのコミュニケーションも十分はかれています。                           |
| 96              | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(自己評価) ① ほぼ毎日のように<br>2 数日に1回程度<br>3 たまに<br>4 ほとんどない                               | 家族の方以外にも、利用者の友人や近所の方もよく訪ねてくれる。                               |

| 項目  | 取り組みの成果<br>(該当する箇所を 印で囲むこと)   | 判断した具体的根拠                                   |
|-----|---|---|
| 97  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(自己評価) ② 1 大いに増えている<br>2 ② 少しずつ増えている<br>3 あまり増えていない<br>4 全くいない | 以前から地域が支えてくれていたため、地域に溶け込むことが元々できていたように思う。   |
| 98  | 職員は、生き生きと働いている<br>(自己評価) ② 1 ほぼ全ての職員が<br>2 ② 職員の2/3くらいが<br>3 職員の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない                                      | 勤務内での休憩時間がとれないことが多く、疲労が重なっている。              |
| 99  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う<br>(自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が<br>2 ② 利用者の2/3くらいが<br>3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない                    | 利用者同士の間関係がこじれないようにサポートしているが、不穏にさせてしまうことがある。 |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う<br>(自己評価) ② 1 ほぼ全ての家族等が<br>2 ② 家族等の2/3くらいが<br>3 家族等の1/3くらいが<br>4 ほとんどできていない             | 殆どの家族等は気付いたことを言ってくれるが、言葉に出る部分が全てではないと思う。    |

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

木の果の目標は、「家庭の温かさを、大切にします。」です。どの家庭にも形の無い温かさがあります。そんな温かさをもつユニットを目指しています。